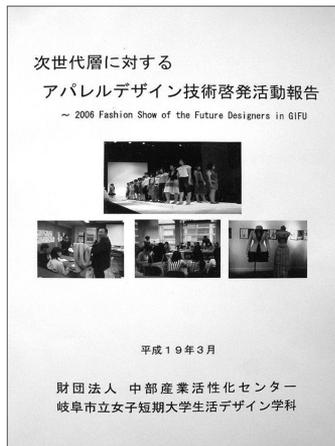


次世代層に対するアパレルデザイン技術啓発活動報告 2006 Fashion Show of the Future Designers in GIFU



財団法人 中部産業活性化センターからの受託事業として「次世代層に対するアパレルデザイン技術啓発」に関する研究を岐阜市立女子短期大学生生活デザイン学科の研究代表として行い、その報告書をまとめた。

この受託事業の実施事項は

- 1) 地場産業としての繊維産業の研究
- 2) ファッションショーの企画・運営・実施
- 3) 提案する商品、デザイン画の展示会

実施対象は短大の学生とアパレル産業への就職を希望する中京地区の大学、高等学校、専門学校の学生（12校）

指導体制は生活デザイン学科の教官と外部専門家として、演出に涌井博之氏（HAIRO主催）、コーディネート指導に棚橋公子氏、「LOHAS」指導近藤健一氏（大正紡績株式会社取締役）、総合プロデュース伊藤陽子。実施母体は伊藤の講座「ファッションデザイン演習」（実践）」である。ファッションショーは2部構成

■第1部 2006 Exhibition of the Future Designers in GIFU

テーマ ～ロハスな装い～

地域の素材を用いて普段の生活で着用できる、「こころ」と「からだ」「地球」に優しいライフスタイルに相応しいファッションをデザインしてください。という呼びかけで作品募集した。制作には後援企業からの生地を提供を受け、それをスワッチにして送り、その布地でデザインを行い、使用する布地の要望を聞いて各校へ渡し制作してもらった。作品数は68点。後援、協賛企業から多数の奨励賞・副賞の提供を受けた。

■第2部 「GIFUを着る」-happy clothing-

2002年から、伊藤の授業の一環として、学生が岐阜アパレル企業を訪問し、製品を借り受け、それらをミックスして「若者の着るファッション」としてコーディネートし、ファッションショーを行ってきた。その継続であり、今回はPart・になった。

日時：平成18年7月23日（日） 開演14：00-15：00

会場：ぱ・る・るプラザGIFU 2F ぱ・る・るホール

このファッションショーを実施した記録を授業時間を追って記述し、当日の様子、奨励賞、参加作品及び11月23日～29日にアクティブG「TAKUMIミュージアム」で行った第1部作品の展示会を記載した。
平成19年3月 制作：中部産業活性化センター 記述：伊藤陽子107P



授業風景



企業訪問



フィナーレ